

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373 番
FAX (076) 231-5156 番
発行人 高松 弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

2面 歯科新点数検討会
4面 おサル先生の在宅医療入門③
「痴呆」講演会案内
5面 福祉を支える人たち②
6面 乳幼児医療費助成制度一覧
7面 保団連医療研究会案内

今月の会員数/947人(医科682人・歯科265人)



267医療機関688人が参加した金沢会場 (3月24日午前・金沢市観光会館)

医科新点数検討会に793人 オリジナルテキストで分かりやすく

学術・保険部長 小川 滋彦(金沢市・内科)



42医療機関から105人が参加した七尾会場 (3月24日午後・七尾サンライフプラザ)

石川県保険医協会は、三月二十四日金沢市観光会館と七尾サンライフプラザにおいて医科新点数検討会を開催し、両会場とも過去最高者があった。

今回の診療報酬改定は、历史上に汚名を残す強硬な医療制度改革を受けて、①健保制度初の診療報酬本体のマイナス改定、②通減制や算定制限の強化、③百八十八日超入院の入院基本料の特定療養費化(保険は無し)に代表される保険診療の空洞化など、医療機関の経営と国民医療に与える大きな影響が懸念されることもあり、過去最高の参加者数(三百九十九医療機関より七百九十三人)となったものと思われる。

テキストの解説に先立ち、十六医療機関の外來レセプトにおける新点数と新薬価の置き換え調査結果の報告では、公称二・七%をはるかに上回るマイナス改定率を示され、特に整形外科では十倍のマイナス二八%にもなる施設があった。

保団連発行のテキスト『点数表改定のポイント』は、各項目ごとに改定の概要を示しており、主な改定内容がすぐ分かる、と定評があるが、保険医協会の講師団は、中央の電話会議に参加や周到なりハーサルを経て当日に臨んでおり、限られた時間内に緻密な解説が行われた。

西田直巳理事からは再診料・外來診療料の月内通減の詳細が、喜多徹理事からは在宅医療に関する説明があった。西村邦雄学術・保険部長からは投票を中心に、二百五円ルールの廃止に伴う処方上の留意点などを

が具体例でいつて示された。申東奎監事からは、今回最もマイナス改定が顕著なりハビリティテーションに関する問題点が挙げられた。今回の改定は入院に関して特に厳しく、長期入院に対する「保険は無し」の実態が大野健次学術・保険部長より解説されたが、本テキストの編纂にあたった工藤浩司事務局員の明快な特定療養費改定の説明と併せ、最後まで席を立つ人はほとんどないほどの密度の高い二時間半であった。

前例のない本改定の運用には様々な疑義が生じることが予想される。来る四月二十八日(日)に、同じく金沢・七尾の二会場で開催予定の「医科新点数運用説明会」にもぜひ出席されることをお勧めする。

医科新点数 運用説明会

- とき 4月28日(日)
◇金沢会場…午前10時～正午
◇七尾会場…午後2時半～午後4時半
- ところ ◇金沢会場…金沢市観光会館2階大集会室
◇七尾会場…七尾サンライフプラザ
- 講師 石川県保険医協会講師団

- テキストは、保団連・保険医協会のオリジナルテキストを使用します。
- 参加希望の場合は、必ず事前に申込みをお願いします。

講師：石川県保険医協会講師団
テキスト：『新点数運用Q&A/レセプトの記載』(予価:2,000円)
参加費：会員医療機関1人無料、2人目から1,000円(テキスト代込み)
(未入会医療機関の方は、当日までに入会していただくことを前提とします。)
参加対象：会員、スタッフ、家族

■申込み：必ず事前にお申込みください。

申込締切：4月20日(土)

※申込みされた方に4月22日に「入場整理券」(官製ハガキ)をお送りします。当日必ずお持ちください。テキストは当日会場でお渡しします。

石川県保険医協会 TEL:076(222)5373 FAX:076(231)5156

保険点数に関する相談はFAXで

FAX:076-231-5156

保険医協会では、会員医療機関からの、診療報酬に関する相談に応じています。電話が集中したり、即答できない場合などがありますので、緊急の場合以外は、必ずFAXにて質問をお寄せくださるよう、お願いします。

医心凡語

数年前から「冬来たれば、春遠うからじ」の思いで春を待ち望みながら冬を過ごしている。春になれば、楽しいことがたくさんある。最大の楽しみはプロ野球開幕である。今年のセリーグの優勝チームはどころうかと予想する。阪神は新監督になって変わったのだろうか？例年、オープン戦や開幕当初は調子が良い。ファンに「今年こそは」と期待を持たせる。しかし、六、七月ごろになると期待を裏切る。根上町出身の怪物が所属するわが愛するチームも昨年ブッチギリの優勝と言われながら見事に期待を裏切った。期待を裏切らないで、と願っている。

期待を裏切ると言えは「小泉内閣」である。聖域なき構造改革！を声高らかに唱え登場し、今までの政治家と違うなど期待を抱かせた。しかし、田中真紀子外務大臣更迭からガラッと変わった。従来通りの利権にドップリの姿が暴かれた。政治にはお金がかかる。政治にはお金がかかる。と与野党すべての国会議員が言う。「総理！総理！」や「疑惑の総合商社」で有名な社民党の女性議員までも公設秘書の給料をピンはね同様に寄付させ流用していたのが暴かれ議員辞任した。「悔しい、私だけが云々」と言っている。罪悪感が全く欠如しているのに腹が立つ。金がいらないような政治がでないか！と叫びたい。春の晴れやかな気分喪失中。

歯科部で初めて

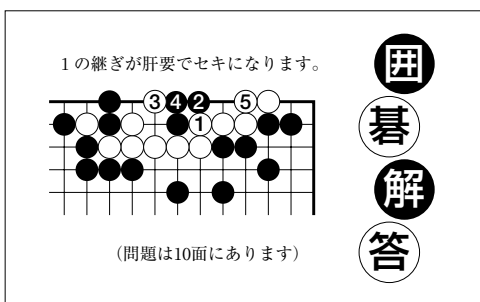
六十八人の参加者で 改定ポイントを検討 新点数検討会開く

理事 小島 登 (内灘町・歯科)

三月二十二日(金)午後八時から、ホテル日航金沢において、歯科新点数検討会を開催しました。

四月一日診療報酬改定に伴う情報をより早く公開するため、検討会をできるだけ早くする企画を立てました。平日夜遅くの開催になりましたが、予想を上回り申し込みが殺到し大きな会場に変更になりました。

歯科部で実質的に初めての検討会に備え、三月十七日の検討会に備え、三月十七日



(問題は10面にあります)

歯科新点数に関する メーリングリストの開設について

今回の新点数に関する疑義解釈や議論を行う場を提供する目的で、石川県保険医協会歯科部会では「メーリングリスト」を開設しました。

「メーリングリスト」とは

メーリングリストとは、メールを使って大勢の人とコミュニケーションすることのできるシステムの事です。すごく簡単に言うと、決まったメールアドレスにメールを送ると、参加しているメンバー全員に同じメールがコピーされて送られるしくみです。これを繰り返すことによってメールを使った会話が進められていきます。

例えばどなたかが新点数に関する質問をメーリングリストに送ったとします。そうするとそのメールはメーリングリスト参加者全員に自動的に送られることになります。その後、メーリングリスト参加者の中でその質問に答えられる方がいれば、その人がメーリングリストに回答を送付します。結果として、メーリングリスト参加者全員がその情報を共有できるということになります。

参加ご希望の方は

メーリングリストに参加ご希望の方は、保険医協会事務局の工藤あてに(アドレスは下記)電子メールにてその旨を送信してください。折り返し詳しい参加方法等を記したメールを返送し、速やかに参加登録を行います。

なお、メーリングリストの参加について、特別な費用は発生しません。通常のメールを受信するのと同じ方法で受信できます。多くのご参加をお待ちしています。

●メーリングリスト申込先●

iskw_kudo@doc-net.or.jp

持論

何という改定なんだ！
今回の診療報酬の改定内容を見て多くの会員の皆さんが驚きと怒りを率直に感じられたことであろう。

働省の発表では、二・七%のダウン率とされているが、実際はその程度では収まらないというのがほとんどの医療機関の実状であろう。保険医協会などの診療報酬改善運動も、一つの転機を迎えたことは残念ながら事実である。

今、わが国は医療のみならず、年金、雇用、介護、福祉など社会保障全般に渡って大きな転機にさしかかっていることは紛れもない事実である。デフレ、不

況、少子高齢化、国および地方自治体の未曾有の財政危機といった状況のもと、日本の社会保障政策はどこへ向かうのか。今の政権は、ほぼ間違いない、健康保険の自己負担率など医療

診療報酬改善運動に転機

社会保障のあるべき姿を 国民に広く伝えることで

国の負担を減らし、自立・自助、市場経済重視型の社会保障福祉政策に向かって舵を切ろうとしている。今次診療報酬改定の基本的な考え方はその流れに沿った

の分野のみに眼を奪われがちであるが、もっと社会保障全般に渡り、広い視野で考察し、意見を述べていかなければならない時期に来ているのではないかと

つまり、二十一世紀の社会保障はどうあるべきか、例えばアメリカのような市場重視型か、国民を対象に普遍的な社会保障を目指した北欧式か、被用者の社会保険から発達したフランス・ドイツ型か、あるいは家族依存が相対的に高い従来からの日本型かなど、基本的なところから学習して、今後の社会保障のあるべき姿を広く国民に提言していくことが必要と思う。そのことが、医療に関するいろいろな誤解・中傷を解き、安心して

あきらめの心を棄てて、新たな前進をめざそう。

2002年度 第1回
理事会点描
新点数への対応と
医療運動を中心に
(3月5日・10人出席)

第一回理事会は、理事出席率八三%で始まった。安藤良一副会長が勇退され、新しく井沢宏夫副会長が就任しての理事

報告があり、組織率への取組についてのデイスカッションとなった。結果は、さしあたり、新点数検討会での医療保険への取組みでのアピールからはじめようということに落ち着いた。

経営・共済部の報告も不景気を反映して、保険医年金の予定利率の引き下げや薬価改定までは静観せざるを得ないジェネリック医薬品への取組みなど、暗い話題の連続で、当面厳しい状況が続きそう。

次、医科診療報酬改定検討会については、三月二十四日に金沢・七尾両会場で行う予定であるが、日程が窮屈な中、前

日の二十三日に打ち合わせを行うことになった。今回も検討会に対する会員の期待の大きさを考えると、今年度の協会の最大イベントと位置づけた対応が望まれるところ

協議事項では、当面の医療運動対策に関して話し合われた。その中の主なものは次の通り。毎日到着している新聞折り込み返信はがきの活用方法として、集まった請願署名を四月四日の保団連国会行動の日に衆議院議長に提出することになった。また、今後の対策として、患者持ち帰り署名を会員一人当たり二百筆以上を目標に早急に取り掛かることになった。さらに、新任井沢副会長の初仕事として、四月十四日の全国保険医総決起集会への参加について快諾を得た。

(西田 記)

A.A.ミーティング場一覧

Table with 5 columns: 曜日 (Day of week), 会場 (Venue), 開催日 (Date), 時間帯 (Time slot), 備考 (Remarks). Lists various AA meetings across different days and locations like 石川県社会福祉会館, 松ヶ枝福祉館, etc.

断酒例会場一覧(断酒会)

Table with 5 columns: 会名 (Meeting Name), 会場 (Venue), 時間帯 (Time slot), 例会日 (Date), 連絡先(電話) (Contact Info). Lists sobriety meetings such as 合同例会, 家族の集い, 金沢断酒新生会, etc.



奥田宏会員

第2回 会員デビュー講演②

ひろメンタルクリニックにおけるアルコール依存症治療
アルコール依存症は家族ぐるみの病氣
家族だけでも、まず治療を

奥田 宏 (金沢市・精神科)

かつて県立高松病院でアルコール依存症治療を担当していたとき、やっと電話で治療を求めてきた家族に... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

外来受診を予約してもらっても、実際に来院するのはその三分の一でした。精神科院という敷居の高さに受診しづらいつつという状況を開き、再飲酒してしま... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

的な治療は難しい面があるのも事実です。それでも病感のある方、やめたほうがいいかなと思っていてる方、楽になりたい方には回復への道を歩んでほしいと思っています... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

アルコール依存症は家族ぐるみの病氣であり、家族だけでまず治療を受けてほしいのです。問題意識を持つている人は、自分を変... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

アルコール依存症は、たがが切羽詰まって受診され... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

診断的には、手のふるえ、寝汗、不眠といった離脱症... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

光を持つてもいう希望の... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

は実際に酒をやめ続けて... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

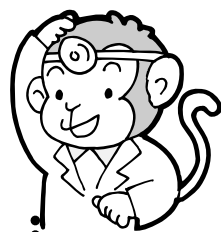
いる人たちに会ってもら... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

石川県では断酒会やA.A. Alcoholics Anonymous ... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

ます。アルコール症無名者の会)が、でも、アルコール依存症... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

は慢性の進行性の経過をたどる病氣です。治療目標は断酒の継続と社会的適応能力の改善におき、一日一日断酒していくように抗酒剤を投与し、再発の危機にあたり、危機介入をしたりします。当院では、病気の性質とその回復について患者さんや家族に知ってもらいうる、アルコール教育グループと家族教室を行っています。再飲酒してもどういうきつかけで飲んでしまっ... 奥田 宏 (金沢市・精神科)

いようにならなければいけません。奥田 宏 (金沢市・精神科)



おサル先生の
在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

『PEG(胃瘻)の常識・非常識?』の巻

先月号のおサル先生におさしましたので、反省をこめて今回はおサル先生には「エンテラ・ルキッド」などという架空の経腸栄養剤が登場させたところ、「医薬品集にも載っていないぞ」とお叱りを頂戴しました。無理やりフィクションのスタイルで書くこととする筆者の悪い癖が出てしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

ただ、言い訳をするわけではないのですが、モデルになった経腸栄養剤のローカル・ルールを文章で確認できなかったことが理由のひとつ。もうひとつは、本年からおサル先生シリーズは全国向けのPEG(胃瘻)のホームページに(胃瘻)のホームページに適宜転載させていただいております関係上、石川県のローカル・ルールが全国標準だと誤解されてしまう

と、他府県のローカル・ルールに悪い影響を与えてしまう恐れがあるため、わざとトボケてみせた、というのが正直なところですが、もちろん、石川県のローカル・ルールは一部都道府県に比べれば、まだずいぶんマシだそうですが・・・

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

第4回日本褥瘡学会学術集会 in KANAZAWA
褥瘡管理をより科学的に、そしてより実践的に

—「真田先生の褥瘡講座」の真田弘美先生が学術集会長として開催—

- とき：2002年8月30日(金)午前9時50分～31日(土)午後5時
- ところ：石川県立音楽堂(金沢市昭和町・金沢駅直結) 金沢全日空ホテル

●プログラム

- ・あのブレイクスケールのDr. Bradenによる特別講演 「褥瘡予防のエビデンス—予測の有効性—」 Dr. Barbara Braden
- ・米国の新進気鋭の褥瘡実践・研究者による招聘講演 「米国における高齢者の褥瘡の現状とチャレンジ」 Dr. Courtney Lyder
- ・医療者でなくても当日参加できる開かれた講演会(どなたでも参加できます) 【特別公開講座】「21世紀の新老人」日野原重明(聖路加国際病院理事長)
- ・1人で学べる褥瘡管理 ぶらっと立ち寄って、褥瘡ケアのビデオを見たり、実践できたりするセルフラーニングセンターを準備予定
- ・コンセンサスシンポジウム、シンポジウム、教育講演、パネルディスカッション、一般演題(口演、ポスター)
- ・ランチョンセミナー、イブニングセミナー
- ・企業展示

■演題の申し込み、参加、宿泊に関しては、12月30日発行の学会誌3巻3号及び褥瘡学会ホームページ(http://ispu.org)をご覧ください。

■問い合わせ先：〒162-0802 東京都新宿区改代町16番地 椿春恒社内 日本褥瘡学会事務局 第4回日本褥瘡学会学術集会係 TEL 03-3269-6051/FAX 03-3269-6068 E-mail jokusou@shunkosha.com

「医師とコ・メディカルのための講演会」のご案内

—「痴呆」と向き合い、全人的医療を志向する—

好評シリーズ「医師とコ・メディカルのための講演会」本年度企画のひとつとして、「痴呆」の問題を取り上げることになりました。高齢者に対して全人的に接するには、「痴呆」の問題は避けて通れないものといえます。

この度、25000例を超える痴呆外来患者の緻密な臨床データをもとに数々のご著書を執筆された金子満雄先生を特別講演にお迎えし、さらに地元のオピニオンリーダーお二人に加わっていただき、この問題を熱く語りしたいと思います。少し先の予定をご案内しますが、ぜひのご参加をお待ちしております。

◇参加費……無料(どなたでもご参加いただけますが、事前に申込みが必要です。)

- テーマ……「老人性痴呆の早期診断と治療の現況」 ◆とき 2002年7月7日(日)午前10時～午後1時
- 講師……浜松医療センター顧問 金子 満雄先生 ◆ところ 金沢都ホテル 7階「飛翔の間」
- ◇コメンテーター：ひろメンタルクリニック院長 奥田 宏先生・呆け老人をかかえる石川家族の会代表 小坂 直信先生

申込み 石川県保険医協会 TEL:076(222)5373/FAX:076(231)5156 (定員に達し次第、締め切らせていただきます) 共催 石川県保険医協会・イーザイ(株)・ファイザー製薬(株)

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

PEG(胃瘻)の常識・非常識?の巻

福祉を支える人たち

その20

痴呆になっても住み慣れた地域で 安心して住み続けたい

痴呆性高齢者を地域で支えるために

グループホームとまり木

グループホームとまり木管理者 高塚 亮三

●連絡先●
管理者 高塚亮三

能美郡根上町福島町ツ34の1
E-mail tktkr@sepia.ocn.ne.jp

自らグループホームを作った

身近に痴呆性高齢者のいる人たちはもちろんのこと、痴呆性高齢者とこれまで接する機会がなかった人たちに「痴呆」を理解し、受容してもらいたいという思いから、痴呆性高齢者グループホームとまり木を作りました。

身近に痴呆性高齢者のいる人たちはもちろんのこと、痴呆性高齢者とこれまで接する機会がなかった人たちに「痴呆」を理解し、受容してもらいたいという思いから、痴呆性高齢者グループホームとまり木を作りました。

当時、私たち夫婦は共働きの生活を送っていました。母を施設に入所させざるを得なくなり、直ぐに入れてもらえないままに在宅介護に備えました。母が在宅介護になってから、精神科病院に入院させました。今から十四年ほど前のことです。ところが、その病院に入院して半月もしないうちから、母の顔に生傷が絶えず、目も空ろになってきました。病院側の説明では、母が他人の病室に入り込み、その病室の人と喧嘩になって、引掻かれたりするので精神安定剤を服用させているとのことでした。

私はこの病院は母には適していないと考え、機会をみて新しく開設された老人保健施設に入所させました。半月で母の生傷は癒え、目にも生気が戻って、元のようになり廊下の廊下を元気に歩き回るようになりました。母は相変わらず他人の居室に入り込むことはありましたが、施設側の配慮でトラブルは回避されました。



今日は氏神様の秋祭り。筆者のお酌でお酒をちょっぴり

介護の仕方により、痴呆性高齢者でも生き生きと生活できることが分かり、私が母にどう対応したらよいかと探し続けていた答が示して頂けました。

母は加齢に伴い歩行も困難になり、車椅子の生活にな



今夜は利用者の世話でグループホームとまり木の庭で取れたフキ料理

適切な配慮で落ち着いた痴呆性高齢者が普通の生活者として自然に一般の人たち

最後に申し上げたいことは、介護の立場からすれば、治療法のない痴呆は病気でなく障害として扱う方が適切だと思われま

十二月の日本痴呆ケア学会

痴呆性高齢者の尊厳のために

痴呆性高齢者介護のもう一つの課題は、効率的な介護が最も馴染まない分野であるということ。人手を掛ければ痴呆の介護はそんなに困難ではありません。ただ、経営面との調和をどこに求めるかが問題です。このような分野にこそNPOの活躍の場があるように思われます。

痴呆性高齢者の問題がまだ取り残されています。痴呆性高齢者の対応には医療、保健、福祉の連携が大切です。痴呆性高齢者を尊厳を持った生活者として、住み慣れた地域で安心して少しでも長く暮らし続けられるように、地域全体で支える仕組みを築き上げたいものです。



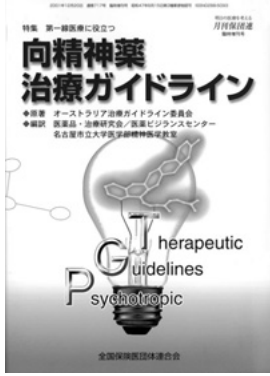
グループホームとまり木の前で秋祭りの獅子舞を觀賞

国際的EBM治療マニュアル 第5弾発行! 向精神薬治療ガイドライン

好評のガイドラインシリーズ5冊目、変換期にある薬物療法にも分かりやすく対応ができる「向精神薬治療ガイドライン」(月刊保団連臨時増刊号)が発行されました。ぜひご活用ください。

◆A5判300ページ 3,500円 会員特価 3,000円

石川県保険医協会
電話076-222-5373 FAX076-231-5156
E-mail ishikawa-hok@doc-net.or.jp



乳幼児医療費助成は就学前まで対象に

——県下市町村で制度拡充すすむ——

石川県の乳幼児医療費助成制度は、ゼロ歳児の入院・通院と1～3歳児の入院だけ、しかも窓口負担金をいったん支払い、後でその費用を市町村に申請した場合に1,000円超の金額を払い戻しする、という不十分なもの。県単独事業では全国最低の水準である。

谷本知事は県民からの改善の声に押されて、昨年6月の県議会定例会にて「10月以降に通院は3歳児まで、入院は就学前まで対象拡大する」意向を示したが、制度拡充にあたっては「所得制限の導入」を条件つけている。

このような県の動きに対応して、県下各自治体では制度拡充の動きが急ピッチで進んでいる。本年4月以降に助成対象を拡大したところは七尾市、松任市など15自治体あり、10月以降はさらに拡充する自治体が増える可能性がある。全国的にも乳幼児医療費助成の対象年齢を小学校就学前まで拡大する動きが広がっている。県内でも本年4月1日現在、就学前まで入院・通院とも助成対象にしているのは28自治体、入院のみ助成対象にしているのは6自治体となっている。(下表参照)

保険医協会では、本年10月からの県単独事業の拡充にあたって、県には所得制限を導入しないこと、各市町村には一層の助成対象年齢の拡大や現物給付の検討等を要求していくことにしている。

石川県内各市町村乳幼児医療費助成制度一覧

2002年4月1日現在

自治体名	助成対象年齢																		
	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		小学校就学前		小学卒業まで		中学卒業まで		
	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院	
金沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
七尾市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
小松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
輪島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
珠洲市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
加賀市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
羽咋市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
松任市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
山中町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
根上町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺井町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辰口町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川北町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美川町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴来町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
野々市町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河内村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
吉野谷村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
鳥越村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
尾口村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
白峰村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
津幡町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
高松町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
七塚町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
宇ノ気町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
内灘町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
富来町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
志雄町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
志賀町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
押水町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
田鶴浜町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
鳥屋町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
鹿島町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能登島町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
鹿西町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
穴水町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
門前町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
能都町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
柳田村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
内浦町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
通院実施市町村数		41		41		41		39		32		31		28		9		8	
入院実施市町村数	41		41		41		41		39		38		34		9		8		

<参考>

石川県4月1日現在	○	○	○		○		○												
石川県10月1日以降	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○						

(石川県保険医協会作成)

2.16集会

参加団体からの発言

前号本紙(3月15日号)で、「2.16医療改革に反対する県民大集会」における当協会の高松弘明会長と県医師会の梅田俊彦会長のスピーチを掲載しましたが、今回は、石川県難聴者協会の山田弥建理事長および全国自動車交通労働組合総連合会の奥護執行委員長の発言要旨をご紹介します。

障害者を奈落に落とす改革

石川県難聴者協会

理事長 山田 弥建

ただ今ご紹介にあずかりました特定非営利活動法人石川県難聴者協会の理事長をしております山田弥建でございます。先ほどからこの度の医療改革について、いろいろ反対のご意見を拝聴しておりまして、まったく同感でございます。人間誰しも金を出すのが好きなものはありません。金を出すのが嫌だから反対というわけではありません。出さなければならぬものは出さなければなりません。保険医療費が赤字になるということから、この改革案が起こっていることは理解できます。そして今、サラリーマンの医療費自己負担率が来年から3割負担に引き上げられ、老人医療の窓口負担も引き上げられ、さらに保険料も引き上げられようとしています。保険医療費の赤字は解消されるかもしれませんが、出すものにとっては大変なことであります。高齢者医療費が医療費の全体の3分の1を占め、7割が若年世代の保険料で支払われていると聞けば、老人はまことに肩身の狭い思いがいたします。その大きな原因は、人口問題に起因するものであり、老人の責任ではありません。

あの未曾有の敗戦後の焼土の中から、今日の日本の繁栄を再建してきた老人たちは、はからずも有史以来、未経験の長寿を経験することになり、戸惑っています。確かに社会保障という恵まれた制度の恩恵の中にいる老人たちですが、顧みれば、それを築きあげたのはその老人たちです。それが今、ようやくその恩恵に合う段階においてその負担を増加されようとしています。まったく笑い話にもなりません。

この医療改革は阻止すべきであると思います。しかし、保険医療費の赤字も減らさなければなりません。聞けば政府与党の間においてさえ、今だ意見の一致を見ていないと言われます。なぜ今、その決定を急がなければならないのでしょうか。三方一両損の意味も明確ではありません。政府はそれらに就いて明確に国民に分かるよう説明する義務があります。われわれがこの反対運動を通じて、政府の明確な説明を要求することは、まことに時宜に適したものであり当然の要求でありましょう。

最後に、現在の介護保険制度では、障害者はその対象になっておりません。世界的なこの不況の下で障害者の雇用も厳しい状況の中で、この医療改革はまさに障害者を奈落に落とすようなものであります。障害者の救済はもとより、老人医療、若年者負担の諸問題について、十分議論し、最上の方法を見いだすよう努力すべきでありましょう。この運動の成功を願って止みません。

人間を粗末にする政治に怒り

全国自動車交通労働組合総連合会 石川地方部会 執行委員長 奥 護

タクシードライバーの職場で働いています。タクシードライバーの事業も「安心・安全」が生命線です。今、その根幹の部分が脅かされています。自交総連、「デタラメはやめて頂きたい」と。渾身の力をふりしぼっているところです。

今日は、職場の仲間たちと誘い合って来ました。二つのことを思っています。一つは、今度の医療改悪、あまりにもひどすぎる。組合の記録を振り返って見ました。1997年の大会ではこう言っています。タクシー需要に大きな影を落としている問題に触れ、さらに、「9月には医療保険の改悪で2倍以上の負担増という追い打ちがかけられました。“病院へ行く回数を減らす”というお年寄りもたくさんいます。タクシーの乗り控えに拍車がかかります」と。1998年には、実態調査が行われています。病院への輸送回数の対前年度月別比較。輸送時における聞き取り。結果は私たちの予想をはるかに上回りました。輸送回数は2分の1に激減。聞き取りのお話では、「こんなに高くなったらおいそれと行かれん」「ひどいじゃないか！」が共通語でした。会社の近くの先生もおっしゃっていました。「与えられたのは、共倒れの道のみ。なんの選択肢もない」と。

3日前のことです。職場でも、ちょっとした異変が起きました。「医療改悪」法案提出秒読み段階に突入。ニュースで聞いたが本当か？これがやられたらオレの命は潰される。これほど人間を粗末にする政治が許されているのか」と、怒りと話題が一気に広がりました。労働者の健康破壊、すさまじいのです。ある事業所では、この一年間で脳梗塞で4人の方が倒れた。

私たちはいい仕事、社会に役立つ、誇れる仕事がしたいと思う。移動制約者に、福祉・介護の分野に、信頼されるタクシードライバーをと、「高齢者福祉タクシー制度」の創設を自治体に求め、また自らの研鑽で、「ケアワークドライバーの会」の事業と運動に力を尽くしています。

最後に、一言。今、労働者の前に空前のリストラと高失業が襲いかかっています。命・暮らし・雇用を守る、世直し春闘が始動しました。医療改悪反対の大きなたたかい、しっかりした社会保障制度の確立とは、車の両輪です。このたたかいには、垣根もためらいもありません。労働者がその先頭に立って頑張る。要求実現の運動と結んで、国政を転換する、職場と地域を変える。労働者・県民の願いが届く県政に流れを変える。2月20日は地域総行動。4月12日は国民総行動。みなさんと一緒に頑張ります。以上。

第17回

保団連医療研究集会

日時：2002年10月12日(土)～13日(日)

会場：横浜市・横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ

メインテーマ：『守ろう!市民の健康 発展させよう!開業医の医療』

主催：全国保険医団体連合会 主務地：神奈川県保険医協会

分科会・ポスターセッションの演題募集中!

主な企画

- 記念講演 中村 哲氏 (医師・ペシャワール会現地代表)
- 共同研究結果発表 「深呼吸が診察室血圧に与える影響について」
- 歯科市民向け企画 「明日からできる口腔ケアのヒント」
～間違っていないか、歯ブラシの使い方～

特別企画

- 1、地域医療対策部が企画する市民を交えた「在宅医療シンポジウム」
- 2、医療情報部が企画する市民を交えた「医療情報シンポジウム」
- 3、歯科部会ワーキングチームによる「歯科共同調査発表・歯科シンポジウム」
- 4、歯科ランチョンレクチャー
- 5、公害環境企画現地視察ツアー

●分科会

- 第1分科会「日常診療の工夫・医科」
- 第2分科会「日常診療の工夫・医科」
- 第3分科会「在宅医療」
- 第4分科会「医学史・医療運動史」
- 第5分科会「公害・環境」

第2日目に開催する分科会、ならびにポスターセッションで発表する演題を募集中です。分科会発表の応募は、保険医協会を通じてお願いします。

ポスターセッション

応募締切 2002年6月30日

お問い合わせ

石川県保険医協会 TEL:076(222)5373 FAX:076(231)5156

—スポーツ歯科講演会のご案内—

サッカー選手における口腔衛生管理の現状とスポーツによる顎顔面外傷について

講師：鈴木 円氏 (石川県立中央病院歯科口腔外科)

開催日時：5月12日 (日) 午前9時～正午

開催場所：金沢都ホテル 7階飛翔の間 (JR金沢駅正面、TEL076-261-2111)

参加対象：歯科医師、スタッフ

参加費：会員医療機関お一人1,000円、非会員医療機関お一人6,000円

申込み：保険医協会までお早めにお申込みください。

石川県保険医協会

TEL : 076 (222) 5373 / FAX : 076 (231) 5156
Email:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

2002 6月2日(日) PM 2:00開演 PM 1:30開場 金沢市民芸術村スタジオ

平和の都・金沢に歌う
李政美 コンサート

愛をうたう、情熱で歌う。この地球の未来に平和の希いを込めて...

主催/核戦争を防止する石川医師の会
非核の政府を求める石川の会
李政美コンサート開催実行委員会
協力/カナダくらぶ

【入場料】
全席自由
大人 ¥2,500
高校生以下
外国人留学生 ¥500

お問い合わせは ☎076-222-5373 (開催実行委員会/神田)

早川ドクターの 山三昧 ②



早川 康浩 (金沢市・内科)

山スキーとは？

創造と自然回帰のスポーツ

山スキーとは、創造と自然回帰のスポーツである。冬、山はすべてが雪に閉ざされて白銀一色になる。この時期、山は人間世界とは隔絶され本来の原始の姿を取り戻す。もちろん登山道なんて無い。白一色の雪原や谷、尾根など、どのようなルートを取って登ろうとも滑ろうとも自由自在である。

山スキーとは、創造と自然回帰のスポーツである。冬、山はすべてが雪に閉ざされて白銀一色になる。この時期、山は人間世界とは隔絶され本来の原始の姿を取り戻す。もちろん登山道なんて無い。白一色の雪原や谷、尾根など、どのようなルートを取って登ろうとも滑ろうとも自由自在である。

山スキーとは、創造と自然回帰のスポーツである。冬、山はすべてが雪に閉ざされて白銀一色になる。この時期、山は人間世界とは隔絶され本来の原始の姿を取り戻す。もちろん登山道なんて無い。白一色の雪原や谷、尾根など、どのようなルートを取って登ろうとも滑ろうとも自由自在である。



冬の白山にて...スキーにて甚の助小屋付近を登る登山者。もちろんこの時期小屋は完全に雪に埋まっている

山スキーとは、創造と自然回帰のスポーツである。冬、山はすべてが雪に閉ざされて白銀一色になる。この時期、山は人間世界とは隔絶され本来の原始の姿を取り戻す。もちろん登山道なんて無い。白一色の雪原や谷、尾根など、どのようなルートを取って登ろうとも滑ろうとも自由自在である。

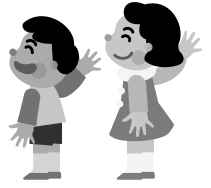
冬はすべてのものが雪で覆われるため、藪はすべて隠れてしまう。無雪期には藪が深く登れないような山でも、スキーを使うことで容易に登頂することができる。ブナの原生林や白樺の林など、その合間をぬって自由自在にスキーを滑らせるほど楽しいものはない。これこそ文明が発達して人間が忘れていた自然への回帰を呼び起こしてくれる楽しいスポーツなのである。一度この世界にはまってしまえば、また雪の降る十一月まで新たなシーズンを迎えるまでの僕のしばらくの冬眠が始まる。山スキーは人間が失いかけていた創造と自然回帰を呼び覚ますスポーツなのである。



冬の取立山にて...この日猛烈なラッセルに苦しめられながらも山頂から友人と最高のパウダーを堪能した

子どもたちははなつ

シリーズ 22



一年生の教室から (上)

子どもの体の声を聴く……

石川県内・小学校教員 (子どものプライバシー保護のため、匿名にさせて頂きました)

いつの頃からでしょう。子どもたちが「ムカッ」「クサイ」「カッターイ……と、身体的表現で不快感を表現するようになったのは。そして、「死ぬ」「殺す」「消えろ」……と、相手の存在を抹殺する言葉でしか、ケンカをすることができなくなったのは。

子どもの心が身体と和解できない状況に追いやられていると、言われます。わたしが受け持ったやっちゃんもそんな子どもでした。

「せんせい、おしっこ」
 二学期も終わりに近い十二月。三限目の授業が始まってまもなくやっちゃんが、前を押さえながら「先生、おしっこ……」と叫びました。次の時間も、同じようにトントンして前に出てきました。「行っといで……。こんどからお休み時間に行くんだよ」と、いう声を背中に「うん」と教室を駆け出しました。遊びに夢中でおしっこにけなかつたのだと思いい、一年生によくあることなので、それ以上、気にとめませんでした。そして、翌日おかあさんから、「膀胱炎

だと思っので、病院に行きます」という連絡があり、翌日には「入院しました」という電話をもらいました。

病院にお見舞いに行く時、やっちゃんは不安からポータブル便器から離れられなくなっていました。そして、お母さんのお話では「検査の結果に異常が見られなかったら、明日にでも退院する」というのです。お母さんの不安な表情に、掛ける言葉がみつかりませんでした。そしてやっちゃんは検査の結果、異常がないということでその病院を退院しました。しかし、その日から家から外に出られない状況になっていたのです。

「いい方法あるよ」
 やっちゃんが退院したことを聞いて大喜びの子どもたちに(クリスマス会を計画していたので)、やっちゃんを外に出られない状況をどのように話せばいいのかを、すごく悩みましたが、やっちゃんの状態を正直に伝えることしかないと思えました。「やっちゃんの心は学校に行きたいって思っているんだけど、体が外に

出られないの。オシッコ出たらどうしようって思うと、すごく不安になって、外に出られないんだよ」と話すと、大ちゃんがすっごくいいことを思いついたよと、得意満面です。「立ちションすればいいじゃん」。するとかなちゃんが「あのね、大ちゃんね、バス停でバスまわるときの道路に向かって立ちションしてんよ。ほしたら、ひろし君もしてん」と、暴露。すると、出るわ、出るわ。とんだ立ちション談義になってしまいました。子どもたちは、やっちゃんの状況を自然に受け入れているんだなあと感じたひと時でした。(つづく)

三、私たち大人としてできることは

入学したところ、子どもたちはどの子も緊張し、中には「入学式の前夜は不安から、ずっと泣いてたんですよ」という子どももいました。だんだん学校になれてきた子どもたちが、休み時間に私の周りにまわりついてきて、おぶさったり、ひざに乗ったり、肩をもんでくれたり……。そんな時、やっちゃんが「オレ、肩こりすげえげんよ」と、つぶやいたことがありました。わたしがふざけてやっちゃんの肩をもむと、ほんとに一年生の背中と思えないほど、かたい背中でした。肩こりだけではありません。身のこなしがぎこちない、チック症状、アレルギー症状のある子(クラスに半数以上)……。心の緊張やストレスが、ストレートに子どもたちの体に現れているように感じています。そんな子どもたちに私たちが大人としてできることは何なのでしょうか？

第13回保険医写真展

開催日時 2002年7月9日～14日
 開催会場 東京・JCIクラブ25 東京都千代田区1番町25
 応募企画 (応募総数100点)
 ・半切のみ(余白、余黒はつけたまま)
 ・カラー・モノクロは自由

◇テーマ
 ①自由テーマ ②子ども(※子どものさまざまな情景・おむね中学生以下)

◇応募資格
 保険医協会会員とその家族・従業員/出展料6,500円/1人1点のみ/メ切は6月14日(詳しくは所属協会か保団連まで。リーフレットを送付)

石川県言語聴覚士会・リレー寄稿<10>



石川整肢学園 言語聴覚室 山本 千敦

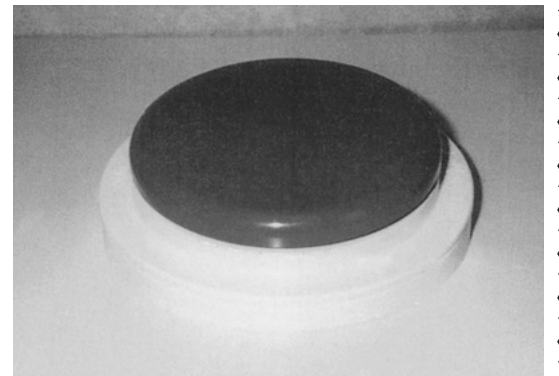
K君は痙直型脳性麻痺の中学2年生の男の子です。K君は人とのコミュニケーションが大好きです。お風呂が大好きで、お風呂行こう！という、「ン！」と返事してくれます。これがK君のYESの合図です。「ライオン」、「ガオー」ということばが苦手で、このことばを言うと、そんな意地悪しないでよお！とばかりに悲しそうな顔をして口をすぼめます。これがNOの合図です。おうちがとっても好きで、みんながおうちの話をする、ママのことを「マ」、パパのことを「パ」と言ったら嬉しそうにしています。病棟や訓練室では、K君はこんなふうにしてみんなとやりとりを楽しんでいます。

言語聴覚士では、訓練室に来てもらって行う個別訓練のほかに、歌に合わせて踊ったり、楽器を鳴らしたりする集団訓練を、週一回、病棟に出向いて行っています。集団訓練では、進行をしてもらう「総合司会」や、お名前呼びをしたり曲目をリクエストしたりする「リーダー」を子どもたちにしてもらいます。子どもたちは

総合司会やリーダーをして、自分の意見を言ったり、人の意見も聞いたりしながら、コミュニケーションの取り方を学びます。

K君は集団訓練には毎回参加して、とっても楽しそうにしています。でも、残念ながらK君にはこれまで、集団の中で発言できるような手段がありませんでした。YESの合図である「ン！」は、わいわい盛り上がりつつあるお部屋の中ではなかなか聴こえにくいのです。そこで、STでは「ビッグマック」という音声出力機器を用いることにしました。これに「はい！」という音声を録音して、お名前呼びやリーダーに立候補する時に使うようにしました。すると、K君はお名前呼びにはタイミングよくビッグマックを押してくれるし、気が向けばリーダーにも立候補してくれるようになりました。間違った時に押してしまうこともあります。周囲の子どもたちが「K君、違うよー！」と言ったりして、子ども同士のコミュニケーションのきっかけともなっています。

それから、K君はみんながゲームをしたりテレビを見たりしている「1号室」が大好きです。そこで、訓練から帰る時には必ずビッグマックに「1号室に行ってもいいですか？」と入れて、お部屋の看護婦さんに了承を取るようになりました。最近ではすっかりK君の発信手段として定着してきていて、看護婦さんは「聴こえんからもう一回！」とか「夕飯まで少しだけね！」とか対応してくれています。看護婦さんに「いいよ、行っておいで！」と言われると、K君は待ちきれないとばかりに1号室を指差したり、やったー！とでも言いたそうな嬉しそうな声を出して、とても満足そうに1号室に向かいます。言語聴覚士では今後もこんなふうにして、ビッグマックのような音声出力機器を使って、コミュニケーション意欲を引き出し、自己選択・自己決定ができる機会を増やしていきたいと思っています。



写真はビッグマック。20秒以内の音声を録音でき、スイッチを押すと音声再生される(直径125mm、重量450g、Ablenet社製)

会員リレーエッセイ ◆◆38◆◆

石川県保険医協会 十五年間の軌跡と現在

(下)

顧問 安藤 良一 (金沢市・内科)

先月号に続いて、その後の八年を振り返る。ああ、そんなこともあったな、と懐かしんでもらえるかも。もっと温故知新の方なら『石川保険医新聞』の合本をひもといて下さい。

一九九四年度。付添看護制度廃止と入院給食費患者一部負担のセツト改悪は病院経営を圧迫。医薬分業を討議したが条件整備の遅れがネック。十月から行政手続法施行で、指導・監査の面でA教授の理念も聴いて期待したが、二年後に厚生省と丁丁発止。

障害者問題やターミナル医療調査で汗を流す。二十点以下の薬名不記載は八年間続いて、事務上も助かったが今年でアウト。

一九九五年度。一月十七日阪神大震災、機能麻痺医療機関千件超す。初動救急アクセス不十分と、犠牲者の大部分が古い家屋の下敷きの教訓。新会長のT氏「変革がますます予想される中、自らの道は自らの力で開かねば」と。以来七年の今も同会長を擁して、協会はその通り努力し歩んでいる。老人医療、健保負担金、介護保険のアンケート千人集める。

一九九六年度。この年、協会の主な活動は前半が「新指導大綱・新監査要綱」での厚生技官と会員、会員アンケート、新聞広報である。「決して指導を緩めない」と行政手続法に對抗する技官の見解は現在も改善されたと思えない。後半は政府審議会報告の「老人定率一割、健保本人二割、薬剤費一部負担」に対する大々的反対運動だったが、現在その通りになっている。薬害エイズ、医療廃棄物にも取り組んだ。

一九九七年度。年頭に当時のK厚相が示した医療改革案は、病床削減、医師数抑制、一般薬の保険はずし、入院給食費負担増、高額療養費負担限度上げ、国保保険料限度上げ等々、見事なまでの医療費抑制と国民負担増でそこに社会保障理念のカケラも見えない。この厚相がいま首相をやっている。六万二千の署名は七月の法案可決で灰塵に帰した。

一九九八年度。訪問歯科診療、歯科隣接医学、エイズ問題啓発、介護保険制度解説、PEG、障害者施設取材等々、地道な協会活動はますます元氣。在総診と諸管理指導料の併算不可は納得できないと全国的に問題提起したが、今や無理が通って道理引つ込む。非核石川県宣言は嬉しい。

一九九九年度。会員数九百、歯科五〇%。市民と共に歩もうがモットーで、近年その効いちじるし。国際高齢者年行事への協賛、「福祉を支える人たち」の取材のほか、各種の学術活動に成果を上げる。保団連と共に、患者負担増反対、診療報酬改善、介護保険制度提言などにも精力的に参加した。

音楽夜話

ポケットにひとにぎりの音楽を

【第二夜】楽しくなくちや音楽じゃない

コンサートが終わってホッとしているところへ友人たちがなだれ込んできた。口々に好き放題な感想を述べて帰っていった。「この野郎かっこつけやがって!」「いやー、いかった

よ」「しかしお前もやるよな」「三番目のあの曲、俺の好きな曲や。こんどはこの曲必ず歌ってくれや」「それにしても楽しそうに歌っていたなあ」などなど。これが毎回繰り返されるシーンである。そんなとき、気がつくとい僕はこんな風に答えている。「いや、ありがとや、そうか、すまんすまん」「わざわざごめん、ありがとや」と。

さて、ここではつきりさせておこう。僕は謙遜してはいない。心から恐縮し、かつ申し訳なく思っているのである。というのは、コンサートが重なるごとに、一番楽しいのは僕自



身、すなわち演奏家であるということがあると分かってきたからである。さすれば、僕の友人たちは、わざわざ大切な時間とお金を払って、僕を楽しくさせるためにコンサートに駆けつけてくれた、ということになる。ああ、僕はただひたすら彼らに感謝せずにはいられない。

ところでこんなふうにいるのは僕一人だけだろうか。そこで知人の音楽家たちを尋ねたところ、やはり演奏する方が楽しいよ、と同じ答えが返ってきた。それは聴いている人も楽しむ感じるのは、演奏者の有り余る楽しさが溢れ出て聴いている人を包み込むためだろうか。笑っている人を見てついつい笑いがこみ上げてくるように。

考えてみると演劇、舞踊、絵画といったパフォーマン スにも同じことが言えそうだが、これら自己表現芸術は、倒的に楽しい立場にいる。つまり、僕が楽しむのは、まさに「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにやそんな」という文句通りである。ならば、受け手側の立場に立って一言提言しようではないか。だいたい表現者がわがままの限りを尽くした作品を高い代価を払った上に決められた見方で鑑賞するなど、いわば奇特な人間のすることだ。作品の解釈は当然のこと、善し悪し、好き嫌いに至るまで受け手は好き勝手自由気ままに選択してしかるべきではなからうか。評論家先生が生活の糧としてひねり出した評価は軽く受け流し、作者が制作の過程で味わった様々な苦労や挫折や思い入れも適度に無視しよう。「私は



会員の休業時の生活安定に寄与

休業保障

ただ今受付中!

保団連・保険医協会運営する会員相互の共済制度
加入申込受付期間 4月1日~5月25日(年1回)

給付日数(最長) 730日(2年間) 入院給付金 188,000円 (1口につき)

●加入資格/加入日現在健康で正常に業務に従事されている59歳までの保険医協会会員で、本制度規程に同意できる保険医である方(加入資格の詳細はパンフレット・申込書等お取寄ください。)

●保障期間/満75歳に達した後に到来する8月1日の前日まで。

●加入審査/告知書により審査委員会加入の可否を決定します。
※告知書は先生本人が正確にお書きください。

●給付例 傷病休業給付金額

	30日自宅休業	30日入院休業
3口	540,000円	720,000円
5口	900,000円	1,200,000円
8口	1,440,000円	1,920,000円

オペラの国イタリアでは演奏が終わったとたんブラボーとブライングが嵐のように交錯するという。聴衆全員が静かに拍手する日本の音楽会は気味が悪いと外国の演奏家が語っていた、とも聞いた。

さて、音楽の話に戻ろう。楽しい音楽会がはねて家路につく人々の顔を見ると、何とも穏やかで幸せそうに見える。音楽が世の役に立つということはいかようなことだ、と思わずにはいられぬ光景である。何ごとにもとらわれることなく、遠慮することもなく、誰もが自由に音楽を楽しむことができるためには、音楽家自身も権威や垣根を捨て去り、自らが芸術の楽しさを純粋に享受しようとする姿勢を保ち続けること、それが大切であると思ふ。

囲碁

■出題者
七段 向井富治 (金沢市・内科)
白番でどう打ちますか。

(解答は2面にあります)